

令和3年度心の問題と成長支援ワークショップ カリキュラム

開催日	時間	プログラム名	目的	内容
1 日 目	午前	①イントロダクション(20分)	・事前学習の確認をする。 ・本ワークショップの動機づけを高める。	・現代の大学等をとりまく状況と学生の心理的特徴 ・高等教育における学生相談の目的と役割 ・学生生活を理解する視点 本ワークショップの概要と目的
		②メンタルヘルスの基礎知識(精神障害と発達障害)(70分)	・学生期によく見られる精神障害、発達障害等について、基礎的な知見と対応時の留意点などを理解し、学生や若者が陥りやすい生活習慣やストレス対処力等が契機となるメンタルヘルス不調についても理解する。	・こころの病気—精神医学の考え方 青年期にみられる代表的な精神障害 ・高頻度に生じる学生のメンタルヘルス不調 ・学内における支援体制—職種間及び外部医療機関との連携
		③アイスブレイク(グループワーク)(15分)	・各班に分かれ、メンタルヘルスの基礎知識(講義)に関する感想や所属校における学生相談・相談体制における課題を共有する。	・各班のメンバーとの情報共有
	午後	④学生の成長を促す相談の乗り方(150分)	・学生からの相談を受ける際の心構えを理解するとともに、カウンセリング・スキルの基礎演習を通して、学生対応の基本スキルを修得する。また、発達に偏りのある学生の相談に乗るときの留意点について理解する。	・自己決定を促すカウンセリング ・支援のための方法論 理論編 面接の原則等 実習編 実習 (1) 傾聴実習 (2) ポジティブ・フィードバック実習 (3) リフレーミング ・発達に偏りのある学生支援の留意点 ミニ実習 (4) (5) 発達障害の疑似体験と支援のポイント
		⑤学生相談体制の理解と関係者との連携(90分)	・支援のための様々な資源について理解する。また、関係者との連携の重要性・必要性を理解する。 ・保護者を含むすべての関係者と連携・協力しながら支援を実施する方法・ポイントを理解する。	・学生相談の3階層モデル ・各階層における支援のあり方 ・自校の学生相談体制の理解 ・学外資源についての理解 ・連携の重要性・必要性
2 日 目	午前	⑥アイスブレイク(グループワーク)(10分)	・接続練習のためのグループ分けをする。	・2日目の導入
		⑦ハラスメントへの対応(80分)	・ハラスメント等の困難案件について基礎的な知識・留意点を学ぶ。	・ハラスメント問題とは ・様々なハラスメント ・相談の受け方(DVDを用いて) ・システム作りと予防活動
		⑧危機対応(自殺等)(前半35分)	・自殺等の困難案件について基礎的な知識・留意点を学ぶ。	・日本の自殺をめぐる状況 ・大学生・大学院生の自殺の状況 ・大学生の自殺を防ぐ一教職員のできること
	午後	⑧危機対応(自殺等)(後半60分)	同上	同上
		⑨未来志向の学生支援(学生も教職員も元気になる企画・立案演習)(85分)	・既存の枠組みや固定観念から脱却し、未来に向けた学生支援のあり方を模索する。	・学生も教職員も元気になれるような取り組みについて、グループ討議を通して、多様な意見を取り込み、企画・立案する。
		⑩アフメーション(気づきから見出す学生支援の指針)(60分)	・2日間のワークショップを振り返り、そこでの気づきから、学生支援の指針を見出す。 ・今後活かすために、その体験を定着させる。	・内省を通して、感じたこと、気づいたこと、学んだこと、再確認したこと、支援の現場で実行したいことなどを、文字と声で表明する。 ・表明することで、自らの学生支援の指針を確認すると共に、他者と共有することで支援の幅を広げる。
		⑪質疑応答と振り返り(20分)	・参加者から提出のあった質問フォームに対して回答することで、解決策等を参加者全員で情報共有する。 ・2日間のプログラムを通しての理解の確認と研修後、具体的にどのようなアクションを起こしていったらよいか、ヒントを得る。	・質問への回答